

（ 参 考 ）

平成25年3月期 第2四半期連結決算概要

平成24年 11月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減	平成24年 3月期実績	平成25年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増 減
売 上 高	7,558	6,805	△ 753	14,540	14,300	△ 240
営 業 利 益	287	15	△ 272	216	230	14
経 常 利 益	279	△ 25	△ 304	229	180	△ 49
当 期 純 利 益	134	△ 153	△ 287	△ 10	50	60
為 替 レ ー ト 円/US\$	80	79	△ 1	79	80	1
国産ナフサ価格 円/KL	57,000	55,200	△1,800	54,900	55,100	200

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減			平成24年 3月期実績	平成25年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	増 減			通 期	増 減
				数量差	価格差			
石 化	2,274	2,287	13	43	△ 30	4,594	4,700	106
基礎化学品	2,671	1,903	△ 768	△ 509	△ 259	4,729	4,090	△ 639
ウレタン	624	679	55	30	25	1,273	1,500	227
機能樹脂	663	674	11	15	△ 4	1,319	1,380	61
機能化学品	727	713	△ 14	△ 1	△ 13	1,484	1,550	66
フィルム・シート	415	376	△ 39	△ 28	△ 11	795	730	△ 65
そ の 他	184	173	△ 11	△ 11	-	346	350	4
合 計	7,558	6,805	△ 753	△ 461	△ 292	14,540	14,300	△ 240

・営業利益

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減				平成24年 3月期実績	平成25年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	増 減				通 期	増 減
				数量差	交易条件	固定費他			
石 化	63	15	△ 48	6	△ 77	23	89	105	16
基礎化学品	182	△ 70	△ 252	△ 75	△ 218	41	86	△ 80	△ 166
ウレタン	△ 72	△ 18	54	6	24	24	△ 146	5	151
機能樹脂	43	47	4	12	△ 12	4	82	105	23
機能化学品	63	72	9	11	△ 8	6	117	150	33
フィルム・シート	18	△ 15	△ 33	△ 7	△ 22	△ 4	2	△ 30	△ 32
そ の 他	△ 2	△ 12	△ 10	-	-	△ 10	1	△ 10	△ 11
全社費用等	△ 8	△ 4	4	-	-	4	△ 15	△ 15	-
合 計	287	15	△ 272	△ 47	△ 313	88	216	230	14

14ページ「3. (5) セグメント情報」に記載のとおり、当社は、当期よりセグメントを変更しております。

なお、平成24年3月期の金額は、平成25年3月期の業績予想対比のための概算数値であり、監査を受けておりません。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増 減	平成24年 3月期実績	平成25年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増 減
資 産 売 却 益	2	4	2	29	20	△ 9
退職給付信託設定益	-	-	-	74	-	△ 74
環境対策引当金戻入額	22	-	△ 22	22	-	△ 22
固定資産処分・売却損	△ 8	△ 16	△ 8	△ 30	△ 25	5
減 損 損 失	-	△ 10	△ 10	△ 129	△ 10	119
関 連 事 業 損 失	-	△ 9	△ 9	△ 7	△ 9	△ 2
投資有価証券評価損	△ 3	△ 8	△ 5	△ 11	△ 8	3
爆発火災事故に係る損失	-	△ 46	△ 46	-	△ 25	△ 25
そ の 他	△ 14	△ 5	9	△ 13	27	40
合 計	△ 1	△ 90	△ 89	△ 65	△ 30	35

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H24/3末	H24/9末	増減		H24/3末	H24/9末	増減
流動資産	6,613	6,343	△ 270	有利子負債	4,648	4,708	60
有形固定資産	4,306	4,315	9	その他負債	3,757	3,658	△ 99
無形固定資産	116	131	15	自己資本	3,674	3,461	△ 213
投資等	1,528	1,490	△ 38	少数株主持分	484	452	△ 32
資産計	12,563	12,279	△ 284	負債純資産計	12,563	12,279	△ 284

(D/E) (1.27) (1.36) (0.09)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増減	平成24年 3月期実績	平成25年3月期 業績予想 (11/1発表値)	増減
営業キャッシュ・フロー	330	190	△ 140	433	300	△ 133
投資キャッシュ・フロー	△ 222	△ 284	△ 62	△ 425	△ 580	△ 155
(フリーキャッシュ・フロー)	(108)	(△ 94)	(△ 202)	(8)	(△ 280)	(△ 288)
財務キャッシュ・フロー	△ 162	△ 11	151	△ 267	150	417
その他	△ 2	5	7	△ 6	-	6
現預金等増減	△ 56	△ 100	△ 44	△ 265	△ 130	135

6. 主要指標

		平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	増減	平成24年 3月期実績	平成25年3月期 業績予想 (11/1発表値)	増減
研究開発費	億円	160	151	△ 9	332	310	△ 22
減価償却費	億円	310	207	△ 103	627	450	△ 177
設備投資額	億円	210	241	31	448	640	192
金融収支	億円	△ 21	△ 17	4	△ 37	△ 40	△ 3
期末有利子負債残高	億円	4,728	4,708	△ 20	4,648	4,900	252
期末従業員数	人	12,823	13,011	188	12,868	13,000	132
連結会社数	社	100	106	6	101	107	6

7. 当期のトピックス

- ・ Siam Tohcello (タイ) : LLDPEフィルム (T.U.X™) の製造・販売会社 設立 (平成24年4月)
- ・ プロデュマスター社 (ブラジル) : ポリプロピレン (PP) 自動車材の製造・販売会社 買収 (平成24年5月)
- ・ 上海中石化三井弾性体 (中国) : EPTの製造・販売会社 設立 (平成24年5月)



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 裾分 啓士

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	680,517	△10.0	1,479	△94.9	△2,508	—	△15,283	—
24年3月期第2四半期	755,764	12.3	28,748	65.6	27,888	91.0	13,365	△22.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △17,754百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 13,203百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△15.26	—
24年3月期第2四半期	13.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,227,928	391,280	28.2	345.53
24年3月期	1,256,303	415,771	29.2	366.79

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 346,131百万円 24年3月期 367,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,430,000	△1.7	23,000	6.7	18,000	△21.3	5,000	—	4.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】7ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。

詳細は、【添付資料】7ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,022,020,076 株	24年3月期	1,022,020,076 株
25年3月期2Q	20,276,329 株	24年3月期	20,250,111 株
25年3月期2Q	1,001,757,126 株	24年3月期2Q	1,001,893,288 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおりネットコンファレンス及び経営概況説明会を開催する予定です。各説明会の様子を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成24年11月1日(木)……機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンス
- ・平成24年11月14日(水)……経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日の6か月間。以下「当四半期」といいます。）における事業環境は、長引く欧州の財政危機、中国及び新興国の景気拡大の鈍化をはじめとする世界景気の一段の減速による需要低迷の影響を受けました。さらに、依然として歴史的な水準で推移する円高等により、厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	6,805	15	△ 25	△ 153
前年同四半期	7,558	287	279	134
増減額	△ 753	△ 272	△ 304	△ 287
増減率(%)	△ 10.0	△ 94.9	—	—

売上高は、前年同四半期に比べ753億円減（10.0%減）の6,805億円となりました。これは、主に基礎化学品事業において、岩国大竹工場の事故等による販売数量減少の影響が461億円あったことに加え、基礎化学品事業の市況下落等による影響が292億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ272億円減（94.9%減）の15億円となりました。これは、コスト削減や償却方法の変更に伴う償却費の減少などがあったものの、主に基礎化学品事業において販売数量が減少したこと及び石化事業や基礎化学品事業における取引条件が悪化したことなどによるものです。

経常損益は、前年同四半期に比べ304億円減の25億円の損失となりました。これは、営業利益が減少したことに加え、持分法による投資利益の減少などにより、営業外損益が悪化したことによるものです。

特別損益は、岩国大竹工場の爆発火災事故に係る損失を46億円計上したことなどにより、前年同四半期に比べ89億円悪化の90億円の損失となりました。なお、前年同四半期は、特別利益として22億円の環境対策引当金の戻入額を計上しておりました。

以上により、**税金等調整前四半期純損益**は、前年同四半期に比べ393億円減の115億円の損失となりました。

四半期純損益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ287億円減の153億円の損失となり、1株当たり四半期純損失金額は15.26円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は、平成24年4月1日付で、新たな成長基盤の構築に向けた平成23年度中期経営計画の早期達成のため、組織改正を実施しており、それに伴い一部事業の帰属セグメントを変更しております。前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期分を変更後のセグメントに組み替えて行っております。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

エチレン及びプロピレンは、需要減退の影響を受け、生産量がいずれも減少しました。

ポリエチレンは、販売数量の減少の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

ポリプロピレンは、国内で販売数量が減少したものの、海外で販売数量が増加したことにより、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ13億円増の2,287億円、売上高全体

に占める割合は34%となりました。一方、営業利益は、交易条件の悪化により、前年同四半期に比べ48億円減の15億円となりました。

（基礎化学品）

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が厳しい状況となりました。

フェノールは、欧州の財政危機及び中国の景気拡大の鈍化等の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

ビスフェノールAは、主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂向けの需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

高純度テレフタル酸は、岩国大竹工場事故による生産停止の影響を受け、売上高が減少しました。

ペット樹脂（ポリエチレン テレフタレート）は、岩国大竹工場事故による生産停止の影響を受け、売上高が減少しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ768億円減の1,903億円、売上高全体に占める割合は28%となりました。また、営業損益は、岩国大竹工場事故の影響等による販売数量の減少や市況下落の影響により、前年同四半期に比べ252億円減の70億円の損失となりました。

（ウレタン）

ウレタンセグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

ポリウレタン材料は、昨年度に震災の影響を受け生産停止していた鹿島工場が通常稼動に戻ったことに加え、海外市況の好転により、売上高が好調に推移しました。

コーティング材料は、自動車向け樹脂の販売数量が増加したものの、一部の製品が岩国大竹工場事故による生産停止の影響を受け、全体として売上高が低調に推移しました。

接着材料は、包装用接着剤の需要低迷及び太陽電池用途における需要減退の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

成形材料は、防水材の販売数量減少の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ55億円増の679億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。また、営業損失は、ポリウレタン材料の販売数量の増加と海外市況上昇に加え、固定費の減少により、前年同四半期に比べ54億円改善の18億円の損失となりました。

（機能樹脂）

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、欧州の財政危機及び中国の景気拡大の鈍化等の影響を受けたものの、用途開発及び市場シェア拡大により、売上高が堅調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、包装材用途の堅調な需要の伸びと、震災に伴う自動車用途等における需要低迷からの回復により、売上高が好調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、岩国大竹工場事故による生産停止に加え、電子情報関連用途の需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ11億円増の674億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。また、営業利益は、販売数量の増加等により、前年同四半期に比べ4億円増の47億円となりました。

（機能化学品）

機能化学品セグメントは、全体として売上高が低調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料等の海外需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

衛生材料は、国内外の紙おむつ需要が依然旺盛であることにより、売上高が堅調に推移しました。

特殊ガスは、半導体産業を中心とする需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。また、**化成品**は円高による需要減少の影響を受け、売上高が伸び悩みました。

触媒は、岩国大竹工場事故による生産停止及び海外需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

農業化学品は、海外需要拡大等により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ14億円減の713億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。一方、営業利益は、ヘルスケア材料の販売数量の増加により、前年同四半期に比べ9億円増の72億円となりました。

(フィルム・シート)

フィルム・シートセグメントは、全体として売上高が厳しい状況となりました。

包装フィルムは、昨夏以降の大幅な需要減退が継続しており、売上高が厳しい状況となりました。

電子・光学用フィルムは、高付加価値品の需要が拡大したものの、販売単価下落及び岩国大竹工場事故の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

太陽電池用シートは、太陽電池封止材市場の需要回復が遅れる中、販売価格下落等の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ39億円減の376億円、売上高全体に占める割合は6%となりました。また、営業損益は、販売数量の減少及び交易条件の悪化等により、前年同四半期に比べ33億円減の15億円の損失となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ11億円減の173億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ10億円増の12億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ284億円減の1兆2,279億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ39億円減の8,366億円となりました。また、**有利子負債**は60億円増の4,708億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ1.3ポイント増の38.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ245億円減の3,913億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ1.0ポイント減の28.2%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/Eレシオ)**は、前期末に比べ0.09ポイント増加の1.36となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ100億円減少し、当四半期末には446億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ140億円減の190億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、売上債権の回収等により運転資金が減少したものの、税金等調整前四半期純損失を計上したことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ62億円増の284億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ151億円減の11億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、有利子負債の調達を行ったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期業績予想の修正とその理由)

平成24年8月7日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期80円/\$（10月～3月80円/\$）、国産ナフサ価格は通期55,100円/k1（10月～3月55,000円/k1）を前提としております。

この結果、営業利益、経常利益及び当期純利益は、全社的なコスト削減等により、固定費の減少が見込まれるものの、石化事業や基礎化学品事業における販売数量の減少及び交易条件の悪化などにより、前回発表予想数値から減少する見込みです。

なお、平成24年8月7日公表のとおりに、中間配当は「3円」とし、期末配当予想は「3円」とさせていただきます。これにより、年間配当予想は「6円」となります。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	15,100	320	290	80	7.99
今回修正予想(B)	14,300	230	180	50	4.99
増減額(B-A)	△800	△90	△110	△30	
増減率(%)	△5.3	△28.0	△37.9	△37.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	14,540	216	229	△10	△1.01

また、業績予想に及ぼす岩国大竹工場の爆発火災事故の影響額の見通しは以下のとおりです。

(単位：億円)

	通期	備考
営業利益	△30	生産・販売の減少及び代替品の調達による損失等
特別損益等	△30	補償、撤去及び復旧等に係る費用、事故に起因するプラント停止に伴う固定費及び保険収入等
合計	△60	

なお、影響額の見通しは、本資料発表日において、入手可能な情報及び将来の不確実な要因に係る仮定を前提としているため、今後変動する可能性があります。

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高								合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	機能 化学品	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	4,700	4,820	1,470	1,400	1,550	810	350	—	15,100
今回修正 予想	4,700	4,090	1,500	1,380	1,550	730	350	—	14,300
増減額	—	△730	30	△20	—	△80	—	—	△800

(単位：億円)

	営業利益								
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	機能 化学品	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	合計
前回発表 予想	150	△25	0	90	140	△10	△10	△15	320
今回修正 予想	105	△80	5	105	150	△30	△10	△15	230
増減額	△45	△55	5	15	10	△20	—	—	△90

(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報

(業績予想数値と実績値との差異)

平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績について、平成24年8月7日に公表しました業績予想と下記のとおり差異が生じております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,950	50	10	△120	△11.98
実績値(B)	6,805	15	△25	△153	△15.26
増減額(B-A)	△145	△35	△35	△33	
増減率(%)	△2.1	△70.0	—	—	
(ご参考)前年第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	7,558	287	279	134	13.34

(差異の生じた理由)

営業利益、経常利益及び四半期純利益は、主に石化事業及び基礎化学品事業において交易条件が悪化したことなどにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、主として定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法によることに変更いたしました。

当社グループでは、事業環境の激変の中で、「成長性と永続性を実現する事業ポートフォリオ」を構築し、「アジアを中心にグローバルに存在感のある化学会社」を実現するため、平成23年度を初年度とする中期経営計画を策定し、海外での事業拡大を進める一方、国内については事業の再構築や徹底的な合理化を進めております。

こうした中、高付加価値及び競争力のある事業への積極的なポートフォリオの変革を標榜した前中期経営計画に基づき、当社グループが実施した国内での大型の生産設備への投資が前連結会計年度までに完了したことを機に、その使用実態を適切に反映した減価償却の方法について検討いたしました。

この結果、今後、国内現有設備の稼働が事業全般に亘って安定的に推移していくこと、また、設備投資計画内容を踏まえても、長期安定的な稼働と収益に貢献する案件が大半であり、将来に亘って同様の設備の使用状況が継続すると見込まれることから、国内における生産設備の減価償却の方法として定額法を採用することが、期間損益計算をより適正に行うための費用配分方法であると判断いたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益が4,818百万円増加しており、経常損失が4,867百万円、税金等調整前四半期純損失が5,187百万円それぞれ減少しております。

（追加情報）

連結納税制度の適用

当社及び一部の子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用していません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,340	45,952
受取手形及び売掛金	274,500	251,307
たな卸資産	248,397	256,569
繰延税金資産	10,061	9,848
未収入金	62,418	55,420
その他	12,166	15,812
貸倒引当金	△571	△554
流動資産合計	661,311	634,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	314,922	317,311
減価償却累計額	△207,887	△210,737
建物及び構築物（純額）	107,035	106,574
機械装置及び運搬具	1,027,473	1,036,705
減価償却累計額	△888,064	△895,614
機械装置及び運搬具（純額）	139,409	141,091
土地	165,210	165,026
建設仮勘定	11,630	11,192
その他	61,933	62,503
減価償却累計額	△54,588	△54,847
その他（純額）	7,345	7,656
有形固定資産合計	430,629	431,539
無形固定資産	11,612	13,042
投資その他の資産		
投資有価証券	93,850	86,653
繰延税金資産	3,213	3,406
その他	56,463	59,688
貸倒引当金	△775	△754
投資その他の資産合計	152,751	148,993
固定資産合計	594,992	593,574
資産合計	1,256,303	1,227,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	194,025	176,459
短期借入金	96,492	117,255
1年内返済予定の長期借入金	24,482	27,649
コマーシャル・ペーパー	18,700	10,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払法人税等	3,978	2,708
役員賞与引当金	35	42
修繕引当金	9,165	9,140
その他	74,630	88,995
流動負債合計	451,507	462,248
固定負債		
社債	93,000	83,000
長期借入金	201,501	202,348
繰延税金負債	13,561	12,124
退職給付引当金	53,150	52,166
役員退職慰労引当金	313	233
修繕引当金	3,832	2,190
環境対策引当金	7,264	6,893
資産除去債務	2,345	2,373
その他	14,059	13,073
固定負債合計	389,025	374,400
負債合計	840,532	836,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	194,648	176,347
自己株式	△14,268	△14,261
株主資本合計	396,498	378,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,179	4,601
繰延ヘッジ損益	△81	△55
為替換算調整勘定	△37,160	△36,619
その他の包括利益累計額合計	△29,062	△32,073
少数株主持分	48,335	45,149
純資産合計	415,771	391,280
負債純資産合計	1,256,303	1,227,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	755,764	680,517
売上原価	640,949	597,127
売上総利益	114,815	83,390
販売費及び一般管理費	86,067	81,911
営業利益	28,748	1,479
営業外収益		
受取利息	109	124
受取配当金	1,379	1,493
持分法による投資利益	4,276	1,078
その他	2,764	1,572
営業外収益合計	8,528	4,267
営業外費用		
支払利息	3,562	3,358
為替差損	2,962	2,622
その他	2,864	2,274
営業外費用合計	9,388	8,254
経常利益又は経常損失(△)	27,888	△2,508
特別利益		
固定資産売却益	246	398
投資有価証券売却益	6	—
環境対策引当金戻入額	2,194	—
特別利益合計	2,446	398
特別損失		
固定資産処分損	780	1,550
固定資産売却損	9	57
減損損失	36	958
関連事業損失	—	930
投資有価証券評価損	353	794
災害による損失	1,380	—
爆発火災事故に係る損失	—	4,605
契約解除金	—	480
特別損失合計	2,558	9,374
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,776	△11,484
法人税等	6,888	3,699
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	20,888	△15,183
少数株主利益	7,523	100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,365	△15,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	20,888	△15,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,643	△3,616
繰延ヘッジ損益	△267	86
為替換算調整勘定	△2,833	635
持分法適用会社に対する持分相当額	58	324
その他の包括利益合計	△7,685	△2,571
四半期包括利益	13,203	△17,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,420	△18,294
少数株主に係る四半期包括利益	6,783	540

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,776	△11,484
減価償却費	30,183	19,904
のれん償却額	844	773
減損損失	36	958
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△709	△1,217
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,628	1,620
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△401	△43
修繕引当金の増減額(△は減少)	△4,859	△1,667
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,938	△371
受取利息及び受取配当金	△1,488	△1,617
支払利息	3,562	3,358
持分法による投資損益(△は益)	△4,276	△1,078
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	15
投資有価証券評価損益(△は益)	353	794
有形固定資産除却損	272	382
固定資産売却損益(△は益)	△237	△341
売上債権の増減額(△は増加)	3,461	23,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,898	△7,466
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,918	△18,431
その他	10,856	14,555
小計	38,241	22,581
利息及び配当金の受取額	2,935	2,862
利息の支払額	△3,528	△3,396
法人税等の支払額	△4,680	△2,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,968	19,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,532	△20,094
有形固定資産の売却による収入	663	838
無形固定資産の取得による支出	△988	△791
長期前払費用の取得による支出	△222	△2,763
投資有価証券の取得による支出	△4,846	△4,054
投資有価証券の売却及び償還による収入	253	66
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,583	△2,316
その他	1,014	760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,241	△28,354

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,485	20,482
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△4,100	△8,700
長期借入れによる収入	4,078	17,442
長期借入金の返済による支出	△8,297	△13,337
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△11,000	△10,000
少数株主からの払込みによる収入	—	403
自己株式の売却による収入	4	4
自己株式の取得による支出	△18	△10
配当金の支払額	△3,005	△3,005
少数株主への配当金の支払額	△5,309	△4,288
その他	△61	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,223	△1,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△130	328
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,626	△10,044
現金及び現金同等物の期首残高	81,119	54,564
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,482	44,581

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	機能 化学品	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	227,377	267,068	62,398	66,262	72,732	41,545	737,382	18,382	755,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,573	13,509	1,961	7,321	2,935	959	99,258	29,834	129,092
計	299,950	280,577	64,359	73,583	75,667	42,504	836,640	48,216	884,856
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,333	18,150	△7,209	4,337	6,279	1,768	29,658	△160	29,498

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,658
「その他」の区分の損失(△)	△160
セグメント間取引消去	41
全社費用(注)	△791
四半期連結損益計算書の営業利益	28,748

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	機能 化学品	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	228,641	190,292	67,899	67,417	71,339	37,641	663,229	17,288	680,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,273	12,815	2,074	8,250	2,548	19,895	110,855	9,167	120,022
計	293,914	203,107	69,973	75,667	73,887	57,536	774,084	26,455	800,539
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,450	△7,008	△1,792	4,655	7,159	△1,455	3,009	△1,115	1,894

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,009
「その他」の区分の損失（△）	△1,115
セグメント間取引消去等	360
全社費用（注）	△775
四半期連結損益計算書の営業利益	1,479

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分の変更）

当社は、平成24年4月1日付で、新たな成長基盤の構築に向けた平成23年度中期経営計画の早期達成のため、組織改正を実施しており、それに伴い一部事業の帰属セグメントを変更しております。

加工品セグメントを廃止し、従来の加工品セグメントのうちペリクル事業を機能樹脂セグメント、不織布事業を機能化学品セグメント、フィルム・シート事業をフィルム・シートセグメントとしております。

また、組織改正に伴い、従来の加工品セグメントの研究開発費の一部について、費用の帰属先を変更しております。

なお、組織改正と同時に一部の連結子会社の所管の変更を行っており、それに伴い帰属セグメントを変更しております。

以上のセグメント区分の変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント	主 要 製 品	
報告セグメント	石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン
	基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、エチレンオキサイド
	ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料
	機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド製品、特殊ポリオレフィン
	機能化学品	ヘルスケア材料、衛生材料、特殊ガス、化成品、触媒、農業化学品
	フィルム・シート	包装フィルム、電子・光学用フィルム、太陽電池用シート
その他	その他	その他関連事業等

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

会計方針の変更等に記載のとおり、当社グループの有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は、当社・国内連結子会社は主として定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法によることに変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「石化」については1,810百万円、「機能樹脂」については563百万円、「機能化学品」については860百万円、それぞれ増加しております。また、セグメント損失は、「基礎化学品」については935百万円、「ウレタン」については511百万円、「フィルム・シート」については24百万円、「その他」については115百万円、それぞれ減少しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。